

■総 説■

アルコール研究の現況と将来：衛生・公衆衛生学分野

上島弘嗣 . . . . . 33 (1号)

アルコール研究の現況と将来：内科学分野

高瀬修二郎 . . . . . 54 (1号)

アルコール研究の現況と将来：薬理学分野

鈴木 勉 . . . . . 135 (2号)

■原 著■

アルコール投与ラットの赤血球膜リン脂質に及ぼすベザフィブラートの効果

藤岡聖子, 塚本昭次郎, 押田茂實, 嶋村政男, 名児耶忠章 . . . 67 (1号)

作業様態の変化による職業性ストレスが飲酒習慣および肝機能検査に及ぼす  
影響に関する研究

金子光延, 原田直子, 古屋博行, 吉田貴彦, 渡辺 哲, 岡崎 勲 . . . 81 (1号)

コカイン・エタノール併用時の致死作用に於ける脳内コカエチレン濃度の検討

早瀬 環, 山本淑子, 山本啓一, 福井有公 . . . . . 95 (1号)

多彩な神経・精神症状を呈した有機溶剤精神病の一症例

宮下 均, 齋藤利和, 佐々木幸雄, 石垣博美, 池本真美,  
中野倫仁, 緑川由紀, 土岐 完, 渡部正行, 高畑直彦 . . . . . 146 (2号)

アルコール性肝障害に合併した原発性肝癌症例の臨床的検討

高後 裕, 大平基之, 小野 稔 . . . . . 155 (2号)

アルコール依存症の血小板アデニル酸シクレース系の変化

片村能也, 齋藤利和, 高畑直彦 . . . . . 164 (2号)

アルコール性肝障害の進展に及ぼすビタミンEおよびビタミンC欠乏による影響

後藤泰隆 . . . . . 177 (2号)

Cognitive functions in alcoholics and success in Treatment: How are they related?

Pekka Saarnio . . . . . 205 (3号)

ラット肝形質膜の脂質組成におよぼす慢性エタノール投与の影響 -急性負荷と断酒による膜の変化-

山下昭美, 藁科宗博, 近藤亨子, 田中 隆, 後藤泰隆, 川合秀治, 門奈丈之, 松井孝安, 戸田 隆 . . . . .	215 (3号)
自家症例「急性アルコール中毒の場面複合幻覚」の描写に関する討議 -HENRY EYの論 難に対して-	
小沼十寸穂 . . . . .	226 (3号)
問題飲酒指標AUDIT日本語版の有用性に関する検討	
廣 尚典, 島 悟 . . . . .	437 (5号)
覚醒剤乱用の残遺症状として amotivational syndrome が考えられた一鑑定例	
芦沢 健, 齋藤利和, 山本 恵, 七戸 真, 石川博基, 前田英雄, 土岐 完, 小澤寛樹, 渡部正行, 高畑直彦 . . . . .	451 (5号)
Adolescent Alcohol Involvement Scale (AAIS) による大学生のアルコール乱用調査	
福田照夫 . . . . .	462 (5号)
有機溶剤精神病の一例	
齋藤利和, 関戸美子, 池田 望, 谷口英治, 門脇いずみ, 芦沢 健 . . . . .	475 (5号)
エタノールの代謝速度論的研究 -ALDH2およびCYP2E1の遺伝子多型がアルコール代 謝に及ぼす影響-PART III-	
岩橋和彦, 飴野 清, 木下博之, 中村和彦, 宮武良輔, 洲脇 寛, 井尻 巖, 石川安範, 市川佳幸, 妻鳥敏彦, 折野耕造 . . . . .	517 (6号)

[目次一覧へ戻る](#)